

大山三峰—梅ノ木尾根—日向薬師

山行日：2014.12.23

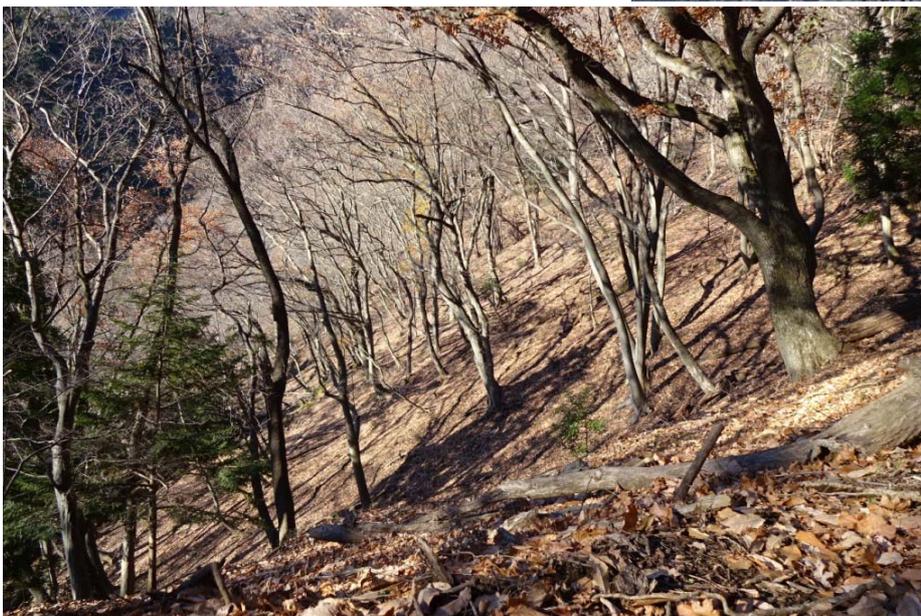
天候：晴れ

参加者：単独

コース：煤ヶ谷/7:30—大山三峰山頂/10:25—唐沢峠/11:50—大沢分岐/12:40—ミス
ルート分岐/13:10—七沢キャンプ場/13:30—日向薬師バス停/14:12



ほぼ満席でバスは出発したが煤ヶ谷バス停下車は
2名のみ



林道に入ると
いまは住民が住んでいない
廃屋が目立つ

冬枯れの木々がきれいだ



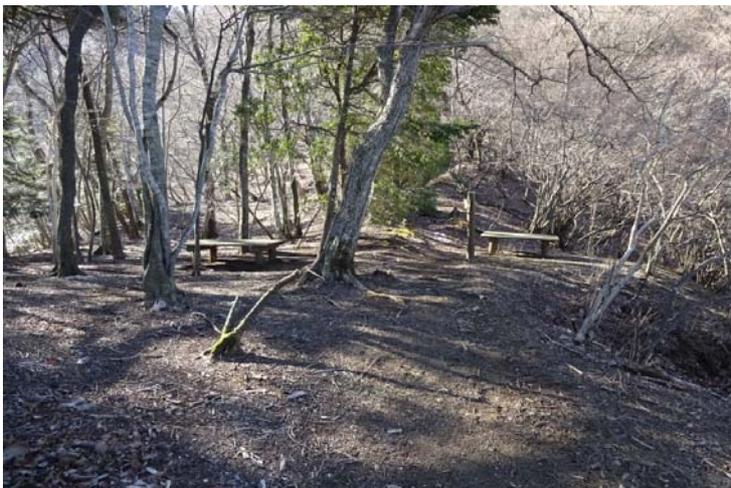
丹沢三峰と中央に蛭ヶ岳



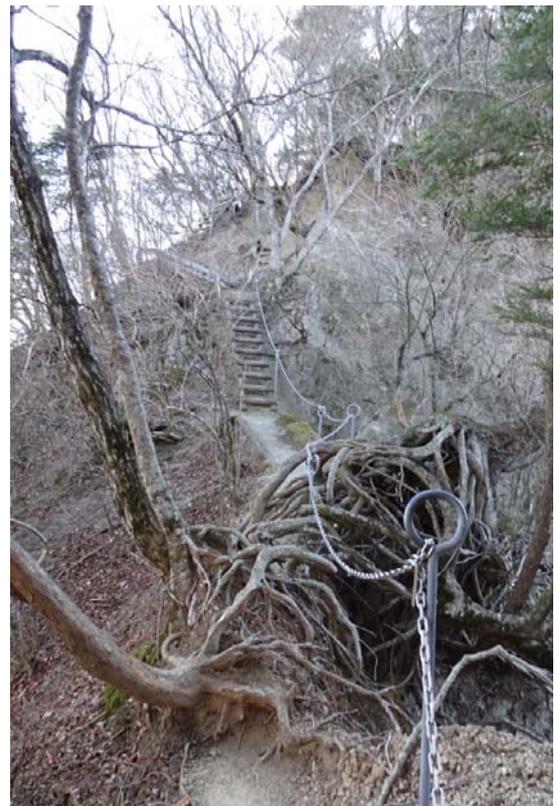
この崩壊地の脇が惣久尾根入口



ガシ場から見える独特の風貌をした鍋嵐



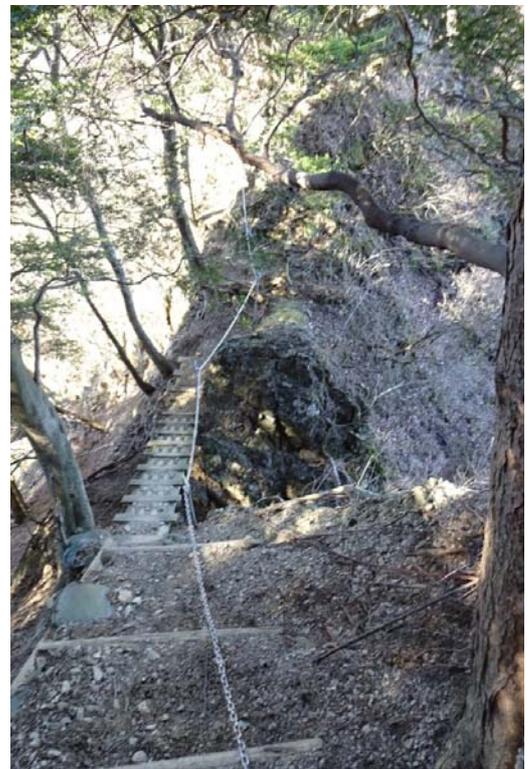
大山三峰、唯一ホットする平坦地
いよいよクサリ、ハシゴのはじまり





三峰山頂には
カラフルな服装の
ハイカーがランチ中

登ってきたら当然
下りもあります



不動沢ルートから分かれて
唐沢峠へ

初めて来たというハイカーが
後についてきたので
バリルートであることを教える
道標はあったが見落としがたい





大山山頂のアンテナに
手が届きそうだ

誰もいない唐沢峠



よく手入れが行き届いた登山道
左下でハイカーグループの声が響いて聞こえる
嫌な予感がある

ここから梅ノ木尾根へ入ります





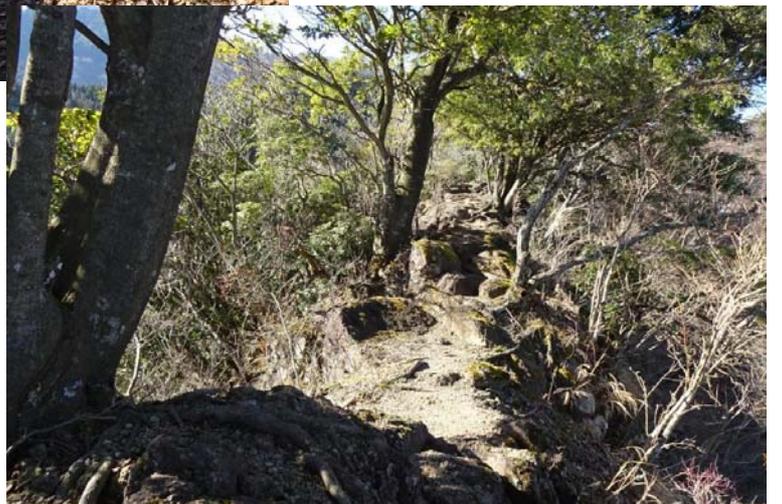
バリエーションルートに入ると、いきなりザシタ急斜面を慎重に下降

今回は久しぶりの事故の多いルート歩き
安全のために30mの補助ロープを持ってきている



大沢分岐が日向薬師バス停ルートと弁天御髪（鐘ヶ岳）ルートの分かれ道

弁天御髪方面の、このすぐの急斜面には足場がなく今日一番の危険な箇所先ほど声が聞こえた団塊の世代8名ほどがロープで確保の準備をしていた。先頭と最後が女性だった。しばらく待ったが時間を要しそうなので、ルート変更することにして大沢分岐へ引き返すことに





日向薬師へ向かうことにしたのだが、ヤセ尾根を過ぎてゆるいピークの左の赤いリボンに誘われて直進するところ巻いてそのまま降りてしまった



途中で踏み後があまりにもうすく右手に大きな尾根があるのに気付いたが降り位置は分かっている



いるので、このまま七沢キャンプ場に向かった

沢を越えて梅ノ木十字路へ



日向薬師本堂はまだ長い改修中



バスに乗り込むとすぐに出発した

